

# BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME: IQ TOUR RISING



平成 28 年 3 月 29 日

COLOR : SILVER / TEAL

COVER STOCK: R2S Tm HYBRID REACTIVE

RG : 2.49(MED/15P) ΔRG:0.029 (MED/15P)

IQ TOUR RISING

IQ TOUR NANO LTD

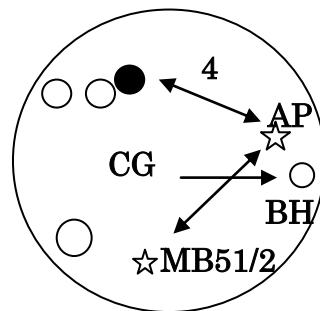
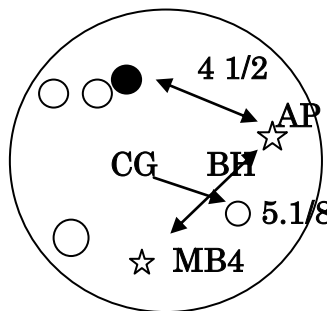
FACTORY FINISH:1500-Grit Polished

TRACK FLARE POTENTIAL : 3" -5"(MED-HIGH)

BACK END:18 LENGTH : 15 (1-20)

レイアウト例

O	LONG			
I	MEDIUM			
L	SHORT			
		Light	Medium	Heavy



適正レーンコンディショニンググラフ

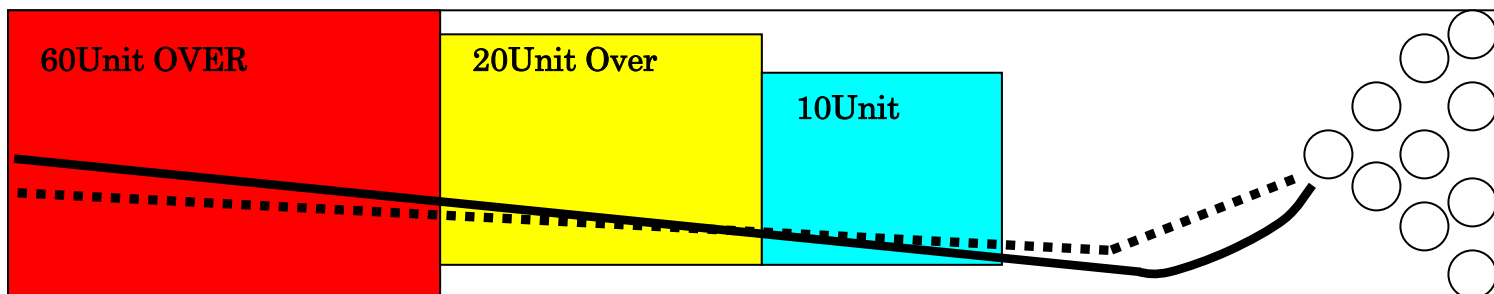
CA52.5度/PSA2

CA52.5度/PSA2

【MEDIUM OIL 編】

フラー幅 最大 6 3/4 ・ 間隔 1/8

最大 6 3/4 ・ 間隔 1/4



0F

比較品ライン

15F IQ TOUR RISING

35F IQ TOUR NANO LTD 40F

【レーン状況】 ツインスターでドレッシング後手前のオイルをスプレーで増量  
バックエンドは手拭きのクリーニングを行っています。

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アーク	1	2	3	4	5	シャープ
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強さ	1	2	3	4	5		
ピンアクション	1	2	3	4	5	テスト品	○	比較品	△				

\*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)



【ボール総合評価】

IQ シリーズはスムーズな直線的投球ラインに適した製品が主でしたが、今回の IQ Tour Rising は非常にオイルに強くなりました。C3 セントリピタルコントロールの影響もあり立上りは早めに感じますので大きな曲りが得られます。また曲りに継続性もありピンアクションも良く感じました。

【ここがポイント】

今回のボールは若干 IQ シリーズ製品のイメージと違う感じで、過去 NANO 素材を採用した LTD 等と比較してもオイル上での摩擦係数がより高く感じられますが、レーン手前よりもブレイクポイントからの転がり感の方が増しているイメージで曲りに継続性を感じました。曲り方は基本アーク状の大きなラインが得られるのでピン当たりも強く感じました。オイルに強い「ALPHA CRUX」とかの曲り方とは違います。



発売予定：平成 28 年 6 月中旬 希望小売価格 ¥49,000 円 (税別)

石原 章夫プロ【株式会社スポーツ専属ボウラー】 テスト協力センター：本八幡ハタ BC